

平成 27 年度
佐渡市地域公共交通活性化協議会
事業中間報告

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 調査事業 | ・・・ P 1 ~ 1 7 |
| 2. 公共交通利用促進事業 | ・・・ P 1 8 |
| 3. 観光二次交通事業 | ・・・ P 1 9 ~ 2 2 |
| 4. 低床型車両導入費補助 | ・・・ P 2 3 |
| 5. 車両ラッピング費補助 | ・・・ P 2 3 |
| 6. 高齢者路線バス運賃割引サービス | ・・・ P 2 4 ~ 2 7 |

1. 調査事業

「地域公共交通網形成計画」に基づき、面的な公共交通ネットワークを再構築するため路線やダイヤの見直し、新たなサービスの導入等を記載した「地域公共交通再編実施計画」を策定する。

このため、本線・南線の統合による環状路線化に向けた調査のほか、観光二次交通や高齢者運賃割引サービスの効果検証等を行った。

調査内容

項目	概要
(1) 国中地域の高頻度運行 意向調査	
・ 乗降調査	本線・南線の統合による環状線化による影響調査を行った。 (P 2 ~ P 8)
(2) 観光二次交通検証調査	
・ 小木線利用状況調査 ・ 宿根木線利用状況調査 ・ 相川観光循環バス関係調査	小木線、宿根木線の乗降データを集積 (通年調査) 相川観光循環バスについて利用状況を整理 (P 9 ~ P 17)
(3) 高齢者運賃割引サービス効果検証調査	
・ 高齢者運賃割引サービス利用者へのアンケート調査	高齢者運賃割引サービス登録者のうち 2,000 名を抽出し郵送によるアンケート調査を実施 10月1日~20日に郵送で実施 (P 24 ~ P 27)

(1) 国中地域の高頻度運行 乗降調査結果

【佐渡市地域公共交通網形成計画】において、佐渡市内のバスネットワークの骨格となる幹線軸・補助幹線軸として位置付ける本線及び南線の利用実態を把握し、公共交通ネットワークの再構築を検討するため、乗降調査を実施した。

調査日：本線 平成27年10月6日（火） 南線 平成27年10月7日（水）

<乗降調査結果の概要>

・本線

利用者、利用目的	通学、通勤、通院、買い物と様々な利用目的で利用されている。
利用時間帯	朝夕のピーク時のみでなく昼の時間帯にも需要が多い。
乗降者数、乗車人員	佐渡汽船での乗降が多く、その他は相川支所・佐和田BS・鍛冶町中原・金井・佐渡病院での乗降が多い。 乗降また乗車中人数は、佐渡病院・金井～佐和田BSで多い。
環状線化による影響	環状線化により佐和田BS～相川支所の区間が影響を受ける。 佐和田BSをまたいでの乗り越し利用は、利用者全体の約25%を占めている。 影響を受ける利用者は、通学、通院、買い物と影響範囲が広く、時間帯も汽船接続便に限らず影響がある。

・南線

利用者、利用目的	約半数の利用者が学生であり主に通学で利用されている。
利用時間帯	朝夕の通学時間帯の需要が多い。
乗降者数、乗車人員	河原田諏訪町・河原田本町・佐渡総合高校前・佐渡中等教育学校前の乗降が多い。 乗降また乗車中人数は、佐渡総合高校前～佐和田BSで多い。
環状線化による影響	環状線化により上町十字路～佐渡中等教育学校間が影響を受ける。 影響を受ける利用者は朝夕の中等教育学校の通学利用者であり、時間帯は便を特定することができ、影響は限定的である。

<今後の取り組み>

○本線については、環状線化により佐和田BS～相川支所間の乗降区間での影響が大きいことが分かった。

○南線については、利用特性から現状は学生通学に特化しており、通院、買い物などの利用目的を喚起することでの需要増加の可能性がある。

◎上記を踏まえ、平成28年度に引き続き検証をし、再編実施計画（案）を作成する。

※参考

<利用状況>

○総利用者数と利用者特性

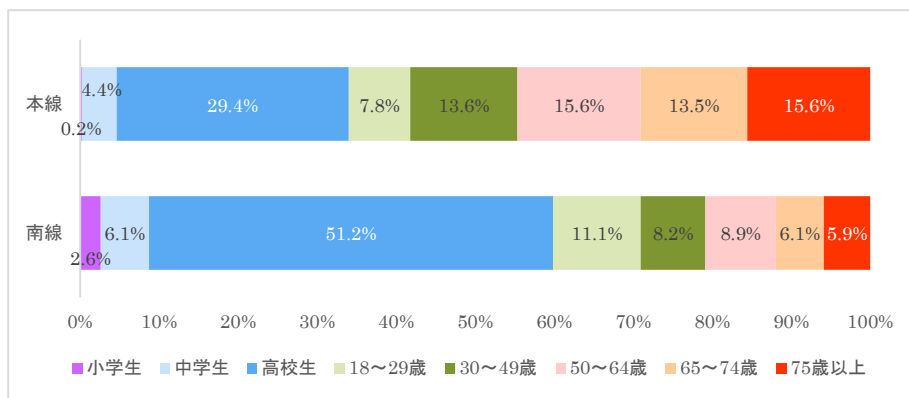
本線：相川行が452（人/日）、監督署行が394（人/日）であり、佐渡高校や相川高校の通学や佐渡総合病院への通院、地域振興局や通所作業所への通勤、市街地での買い物など、利用目的は様々である。

南線：佐和田BS行が298（人/日）、両津港行が232（人/日）であり、佐渡高校、佐渡総合高校や佐渡中等教育学校などの通学のほか、通所作業所への通勤などの利用もみられる。

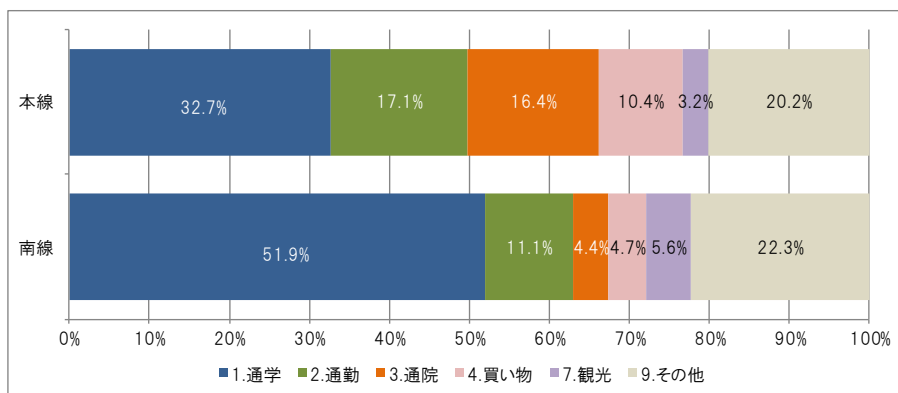
(本線)	便数	利用者 (人/日)	利用者 (人/便)
監督署前(両津) ↓ 相川支所 相川支所 ↓ 監督署前(両津)	23	452	19.7
	22	394	17.9

(南線)	便数	利用者 (人/日)	利用者 (人/便)
両津港 ↓ 佐和田BS 佐和田BS ↓ 両津港	14	298	21.3
	14	232	16.6

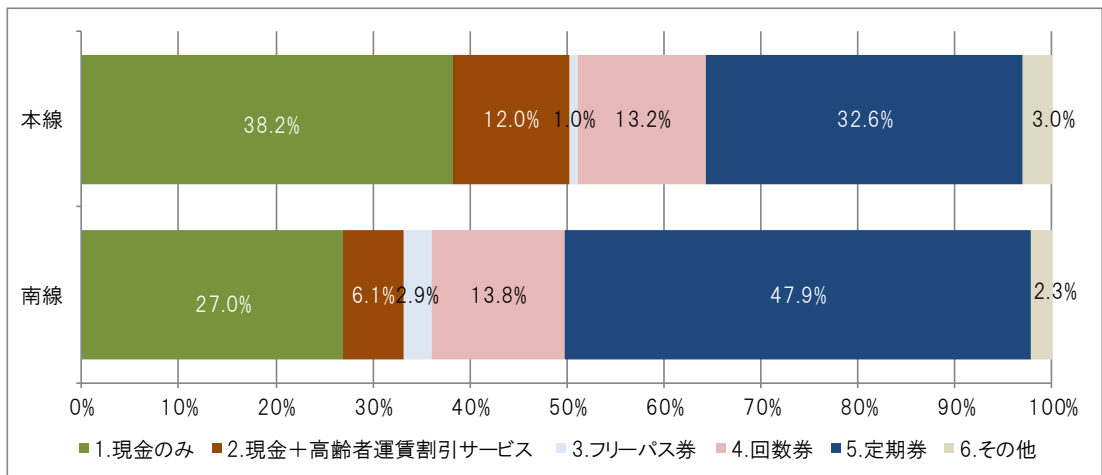
(本線・南線の利用者属性)



(本線・南線の利用者目的)

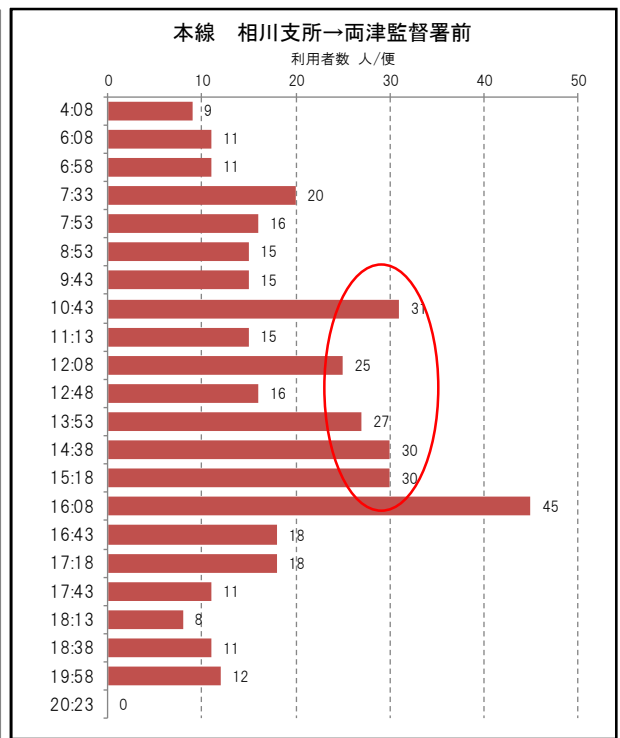
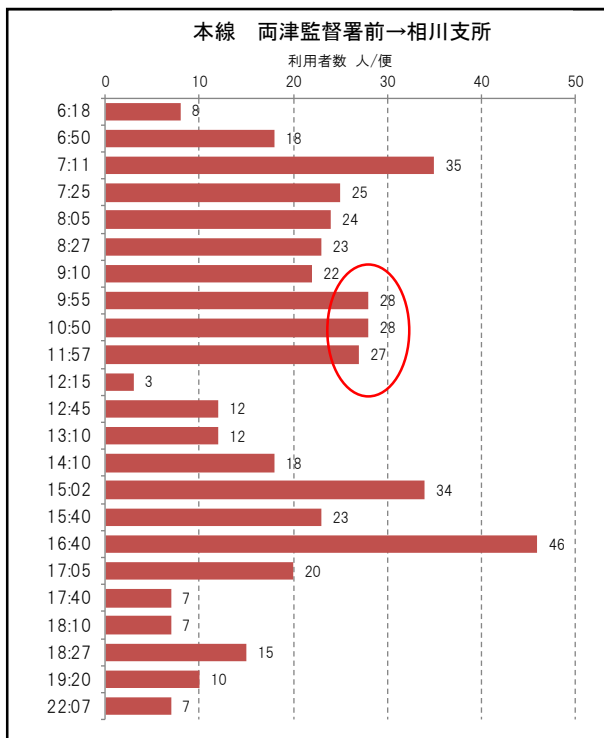


(本線・南線の支払い区分)

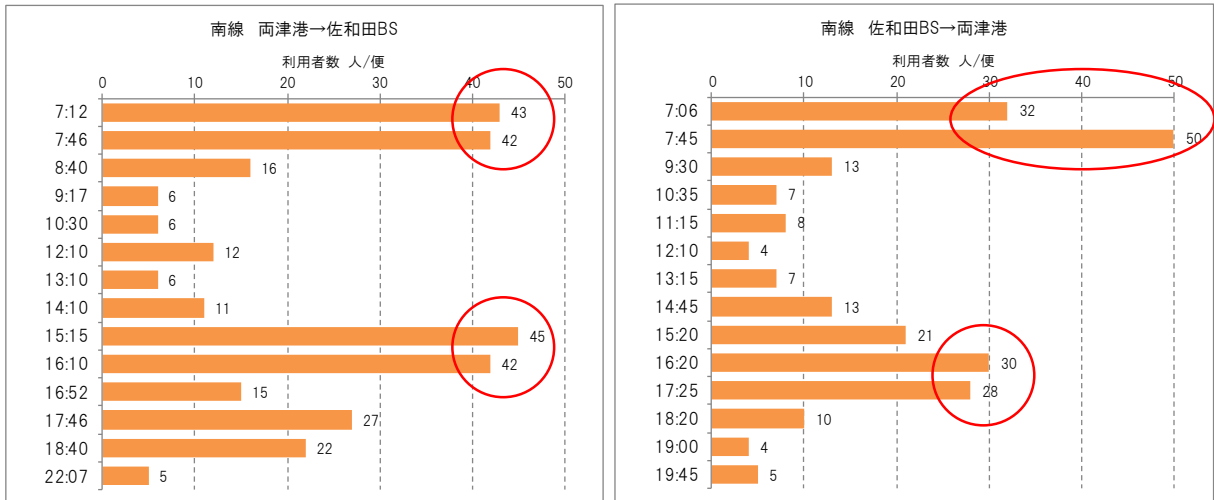


○便毎の利用者数

本線：利用目的が様々であることから、朝夕のほか、昼の時間帯にも需要が多くなっている。

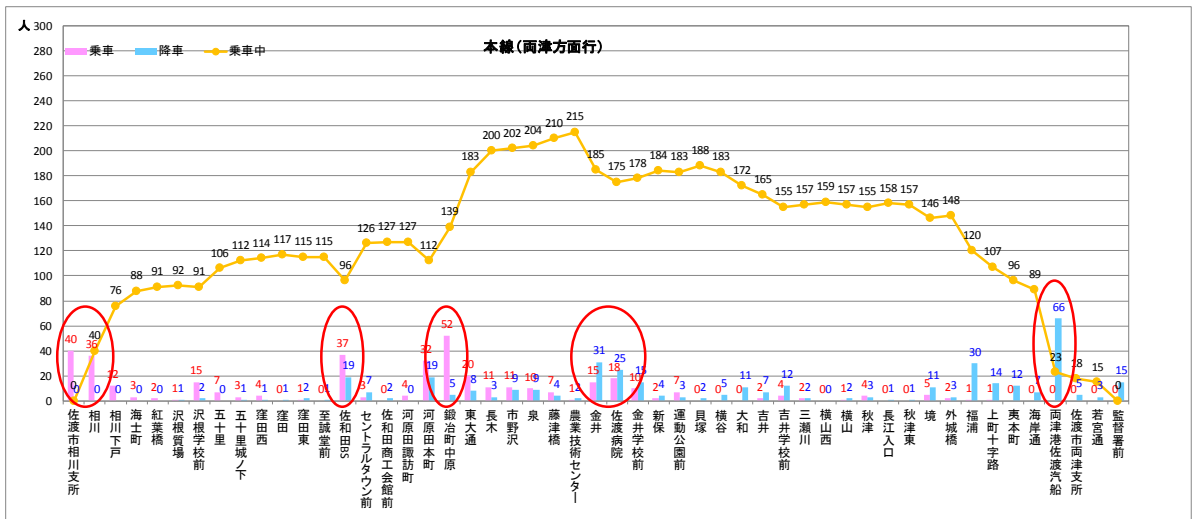
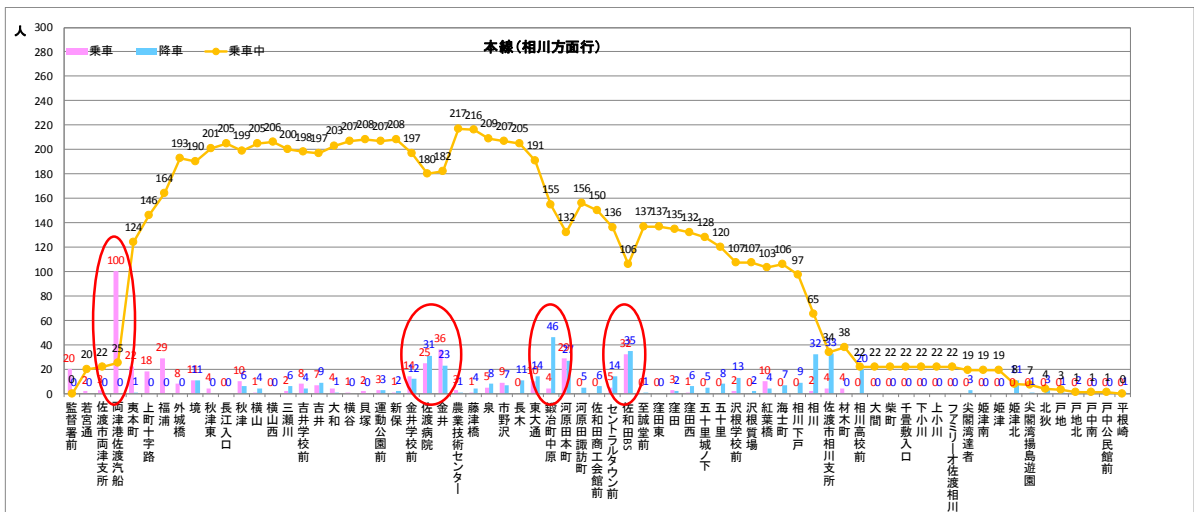


南線：特に高校生や一部の小学生の利用が多いことから、朝と夕方の通学時間帯に需要が多くなっている。

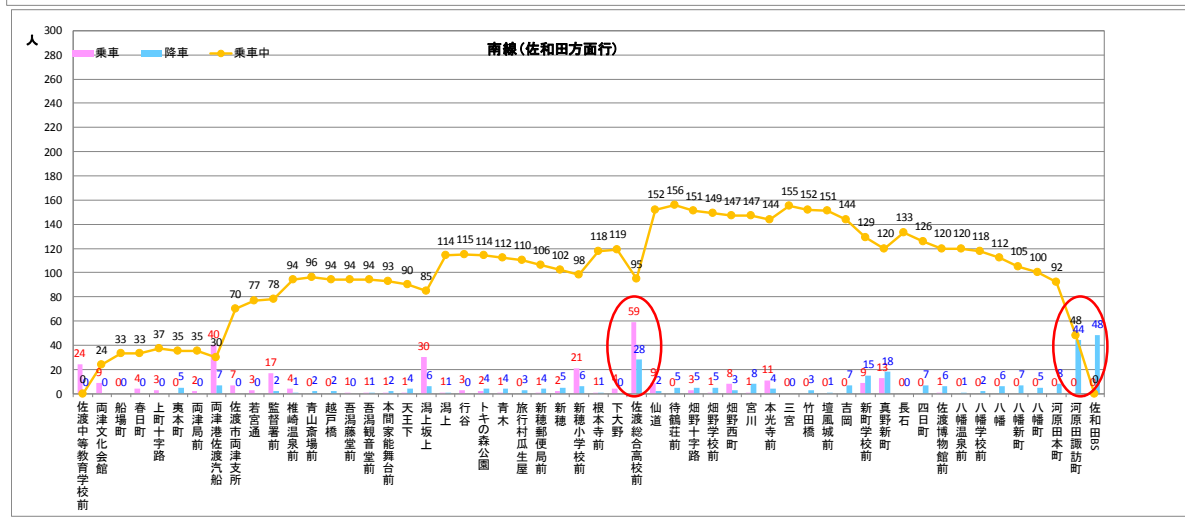
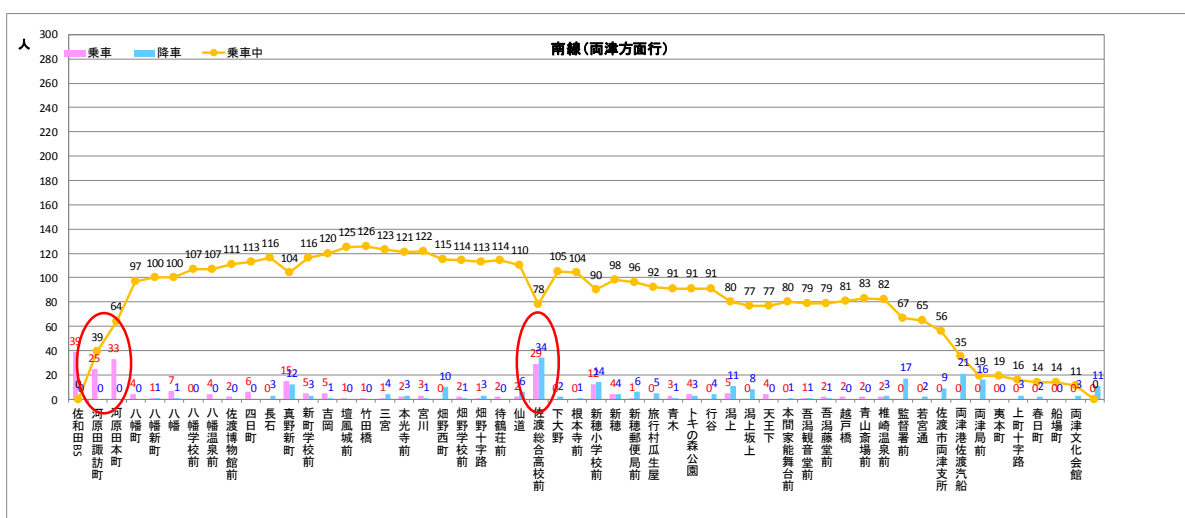


○バス停毎の利用者数

本線：佐渡汽船での乗降が多く、その他は相川支所・佐和田BS・鍛冶町中原・金井・佐渡病院での乗降が多くなっている。乗降また乗車中人数が多い区間は、佐渡病院・金井～佐和田BSである。



南線：高校生の利用が多い河原田諏訪町・河原田本町・佐渡総合高校前、佐渡中等教育学校前での乗降が多い。乗降また乗車中人数が多い区間は、佐渡総合高校前～佐和田BSである。



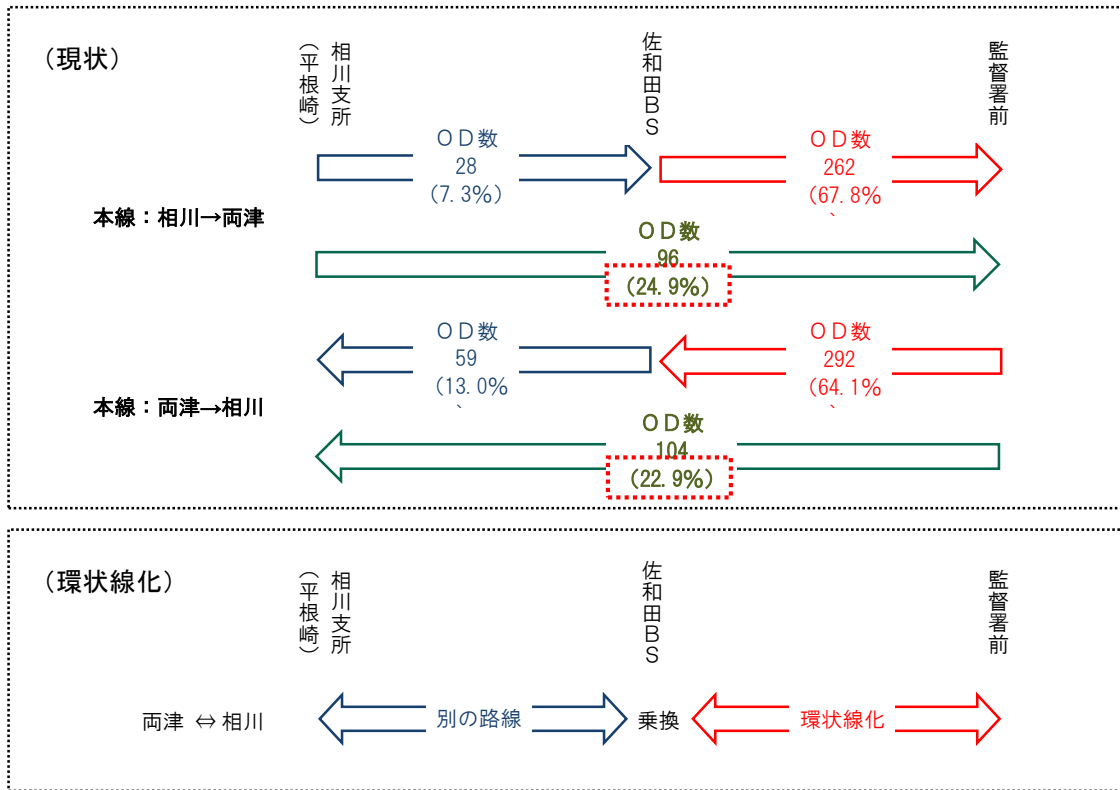
○環状線化により分断の影響を受ける利用者

本線と南線の環状線化により、本線の佐和田BS～相川支所（平根崎）、南線の上町十字路～佐渡中等教育学校間は佐和田BS、上町十字路での乗り換えが必要となる。

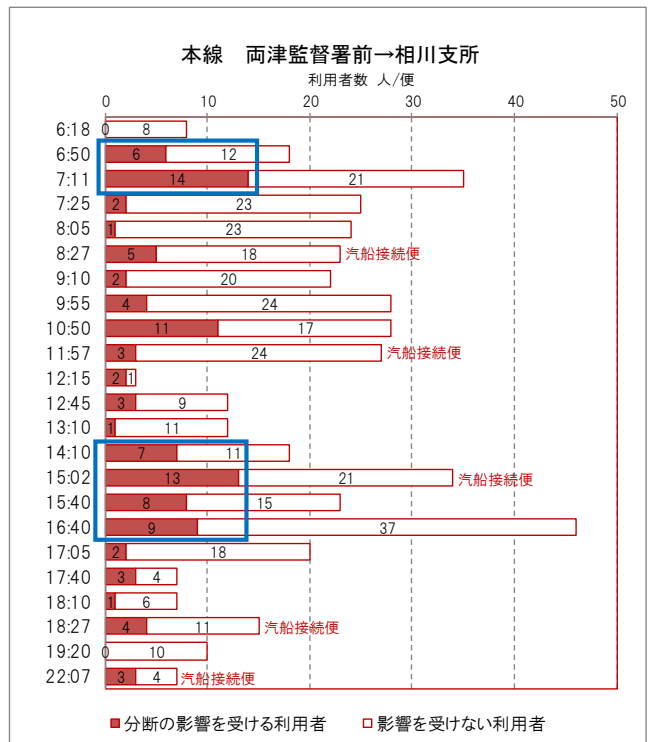
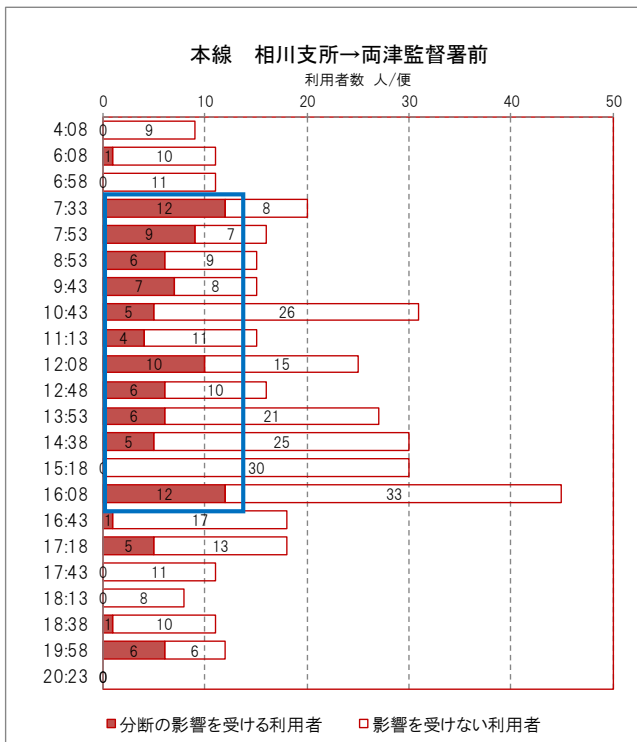
このため、現状の本線、南線で当該区間を跨いで利用し、環状線化により分断の影響を受ける利用者数の整理を行う。

[本線]

現状では、佐和田BSをまたいで乗降する利用者（環状線化により分断の影響を受ける利用者）は、本線利用者全体の約25%を占めている。

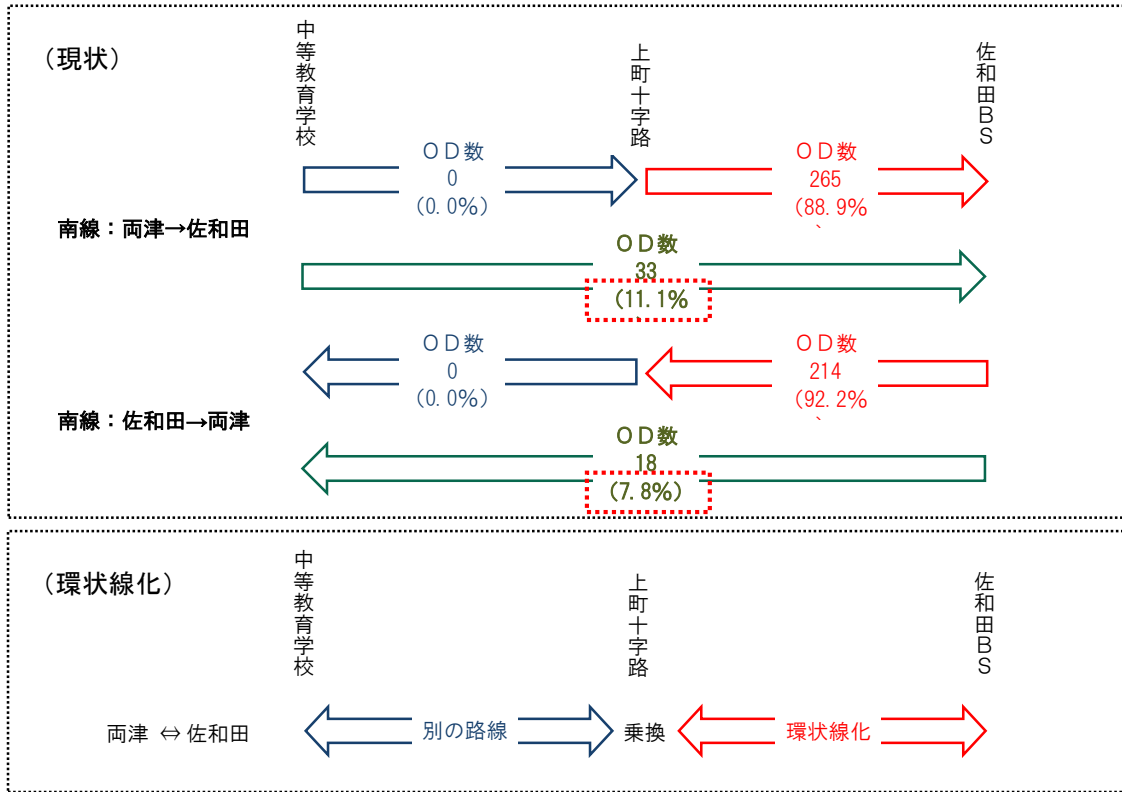


環状線化により分断の影響を受ける利用者が特に多い時間帯は、朝夕の通学時間帯となっているが、昼間の時間帯にも影響がある。

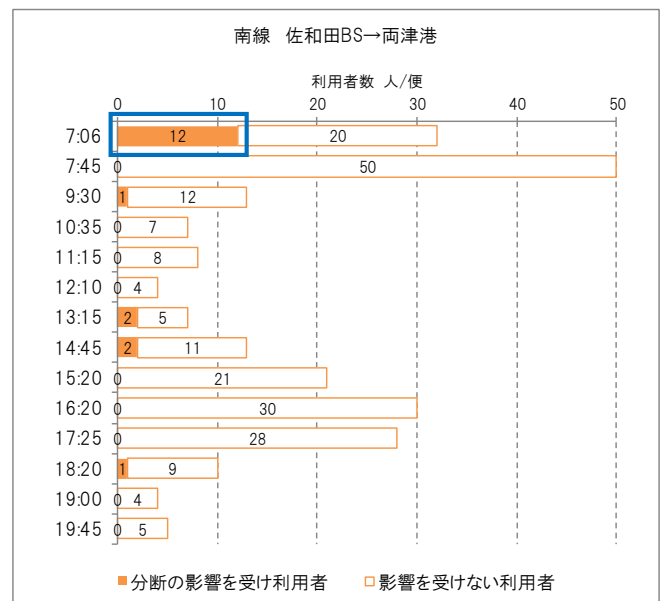
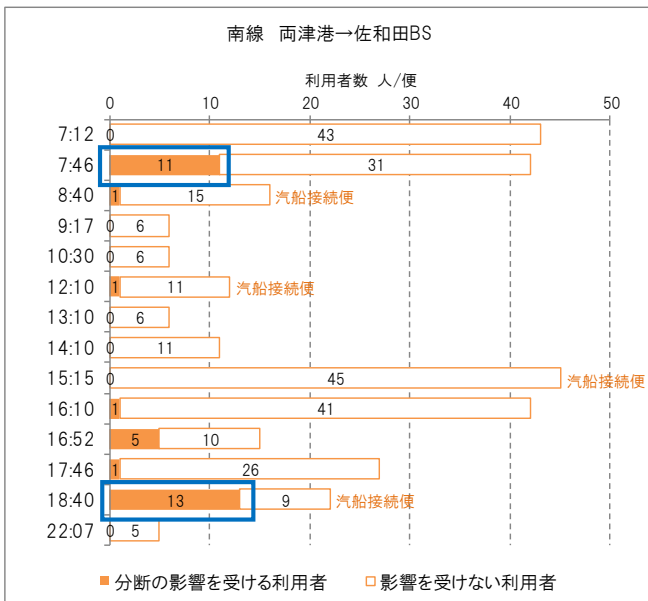


[南線]

現状では、中等教育学校前～春日町間で乗降し、上町十字路～佐和田BS間で乗降する利用者（環状線化により分断の影響を受ける利用者）は、南線利用者全体の約1割程度である。



環状線化により分断の影響を受ける利用者が特に多い時間帯は、朝の通学時間帯と夕刻の汽船接続便となっている。



(2) 観光二次交通検証調査

平成 27 年 4 月から観光地への延伸・迂回を行った路線について、その運行効果を検証した。

1. 小木線

小木直江津航路に就航した高速カーフェリー“あかね”の発着時間に合わせて、小木線のダイヤ見直しを行うとともに、佐渡金山や尖閣湾などの観光資源を有する相川地域まで延伸。

運行期間：平成 27 年 4 月～11 月

運行便数：1 日 4 便（2 往復）

<調査結果概要>

・ 4 月～11 月の 8 か月間で小木線の総利用者数は 12,486 人であり、このうち、延伸した相川支所での乗降者数は全体の約 1 割を占める 1,150 人であり、一定の延伸効果がみられる。

・ 平日と休日の日当たりの比較では、必ずしも休日利用が多いというわけではなく、一定の日常利用もあると想定される。

<今後の取り組み>

佐渡金銀山の世界遺産国内推薦決定、世界遺産登録を見据えて今後利用が伸びることが見込まれるため運行を継続し、引き続き利用状況を把握する。

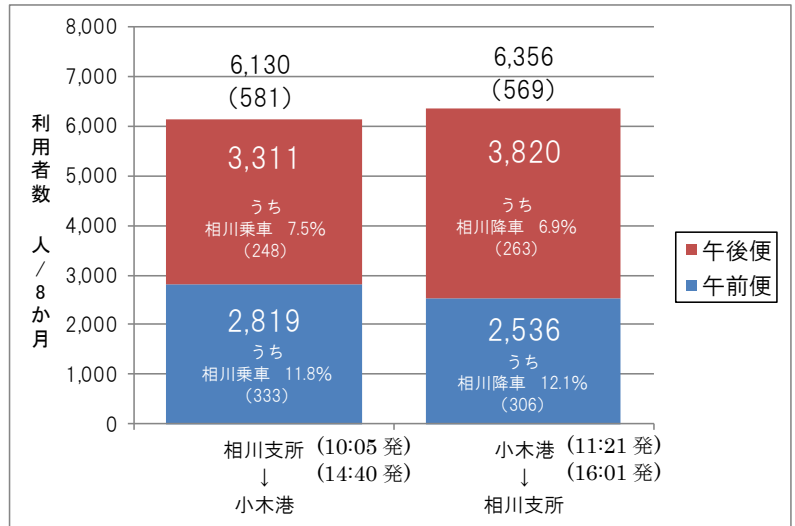
※参考

<利用状況>

○期間中の利用状況

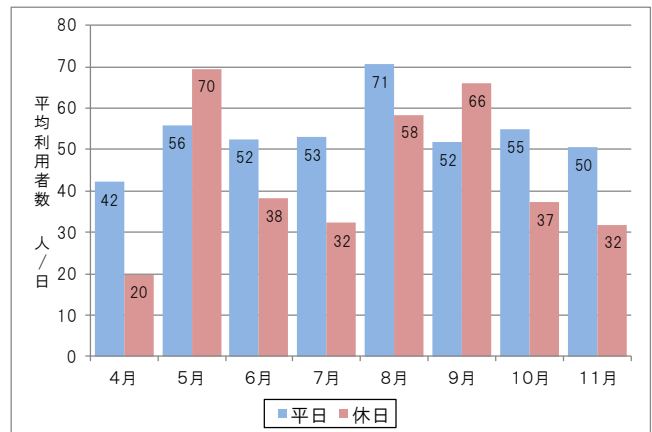
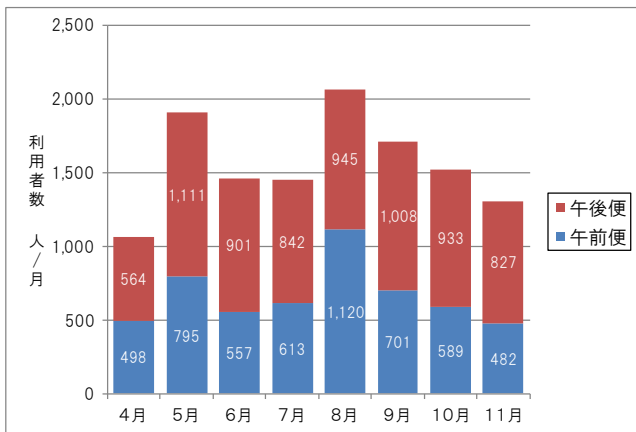
4月～11月の8か月間で小木線の総利用者数は12,486人であり、このうち、延伸した相川支所での乗降者数は全体の約1割を占める1,150人である。

午後の利用者が多くなっているものの、小木港発便のほうが、その比率は高くなっている。



○月別の利用状況

観光シーズンである5月、8月の利用者が多くっており、9月以降は徐々に減少傾向にある。しかし、平日と休日の日当たりの比較では、必ずしも休日利用が多いというわけではなく、9月以降は平日利用の変動は見られず、一定の日常利用もあると想定される。



2. 宿根木線

小木直江津航路に就航した高速カーフェリー「あかね」の発着に合わせて沢崎から「白木・江積」まで延伸するとともに、鼓童の活動拠点である「太鼓体験交流館」への迂回運行を行う。

運行期間：平成27年4月～通年運行

運行便数：1日7便（休日はさらに2便増便）

※7:10 江積発便は早朝便で、かつ、小木線への直通便であるため、ここでの集計からは除外した。

<調査結果概要>

- ・4月～11月の8か月間で宿根木線の総利用者数は3,510人であり、このうち、延伸した江積～白木間の乗降者数は全体の約8%を占める269人、太鼓体験交流館は全体の4%を占める148人である。
- ・全体の利用者数については、「あかね」の就航による不規則ダイヤの解消により増加しているが、延伸区間での利用割合が少ない。
- ・観光シーズンである5月、8月と9月の利用者が多くなっており、この月は特に休日に利用者が多くなっている。その他の月は、平日と休日の利用者数は、ほぼ同程度である。

<ジオガイドの同乗>

佐渡ジオパークの魅力を発信するとともに旅の付加価値を向上させるため、路線バス宿根木線にジオガイドが同乗し、車窓から見えるジオポイントのガイドを行った。

実施期間：平成27年4月29日、5月2日～6日、8月3日～16日 20日間

乗車ダイヤ：往路 小木港 11:20 発～宿根木～太鼓体験交流館～沢崎～江積 12:00 着
復路 江積 12:31 発～沢崎～太鼓体験交流館～宿根木～小木港 13:10 着



(車内でジオポイントを解説)



(車窓から見えるジオポイント「神子岩」)

<今後の取り組み>

連休時期に利用者が多くなる傾向にあり、観光客の利用があることが分かる。

延伸区間での利用割合が少ないことの対策として、宿根木線を利用したモデルコースを作成し、主要観光地である宿根木集落だけでなく、太鼓体験交流館やジオサイトを複合的に周遊できる路線であることをPRする。

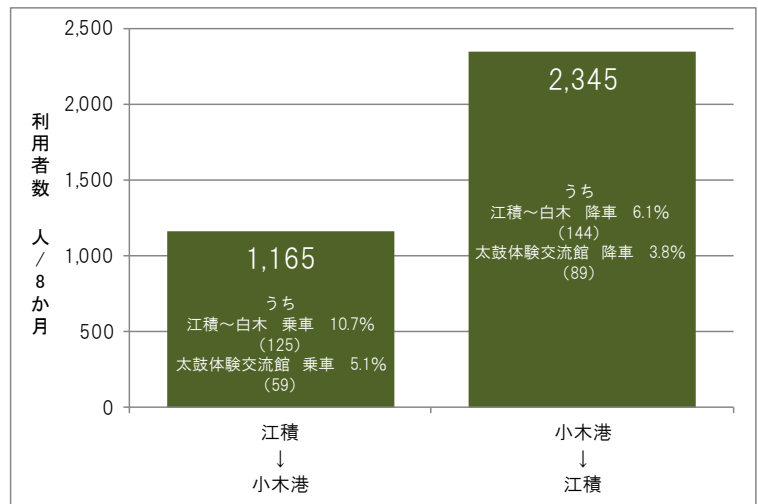
※参考

<利用状況>

○期間中の利用状況

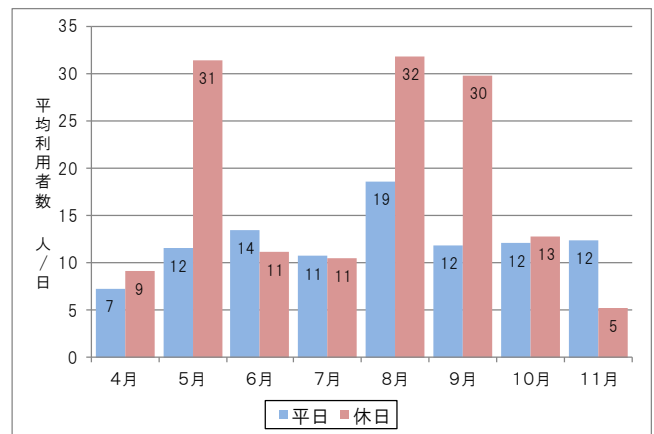
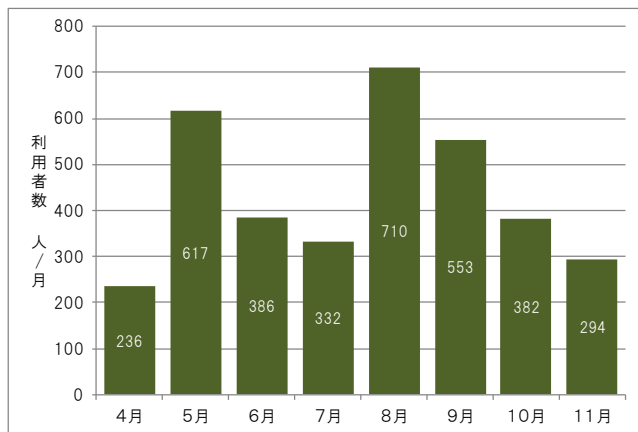
4月～11月の8か月間で宿根本線の総利用者数は3,510人であり、このうち、延伸した江積～白木間の乗降者数は全体の約8%を占める269人、太鼓体験交流館は全体の4%を占める148人である。

なお、ここでの集計から除外した7:10江積発の小木線直通便の利用者は3,488人である。



○月別の利用状況

観光シーズンである5月、8月と9月の利用者が多くっており、この月は特に休日に利用者が多くなっている。その他の月は、平日と休日での利用者数は、ほぼ同程度である。



3. 相川観光循環バス

佐渡金銀山の世界遺産登録を見据え、相川支所バスターミナルと佐渡金山を結ぶ観光循環バスを運行。

運行期間：平成27年4月21日、4月25日～9月27日 の土日祝日

運行便数：1日10便（9：30～16：00）

運賃：1乗車200円、1日乗り放題フリーパス500円

1家族1日乗り放題家族パス1,000円、既存フリー乗車券も利用可能

<調査結果概要>

○利用状況

- ・全体で1,242人（日当り22.6人）の利用者があり、ゴールデンウィーク、シルバーウィークの連休時に利用が多い。
- ・利用者総数は少ないが、アンケート結果から利用した方の満足度は高く、周知不足が課題である。

○循環バスの認知

- ・知るきっかけとなった情報媒体は、インターネットが多く、28%、ついで、パンフレットが22%となっている。

○循環バスの運賃

- ・運賃支払は、現金が全体の33%となっている。その他は、1～3Dayフリーパス購入者が多くなっている。
- ・運賃設定への評価は3Day、2Dayフリーパス購入者からの評価が高い。

○循環バスへの要望

- ・運行便数、運行ルートに関する要望は少ない。
- ・運行日の設定について平日運行の要望がある。

<今後の取り組み>

佐渡金銀山の世界遺産国内推薦決定、世界遺産登録を見据え社会実験としての運行を継続する。

利用者アンケートからインターネットでの情報発信が有効であり、フリーパスの評価が高い。このことを念頭においた広報周知を行う。

また、旅行エージェント等に対し情報提供を行い個人型旅行商品パンフレット等への掲載を依頼する。

平成28年度運行については要望のある平日運行について観光客以外に地域住民の利用も見込み実験的に取り組む。

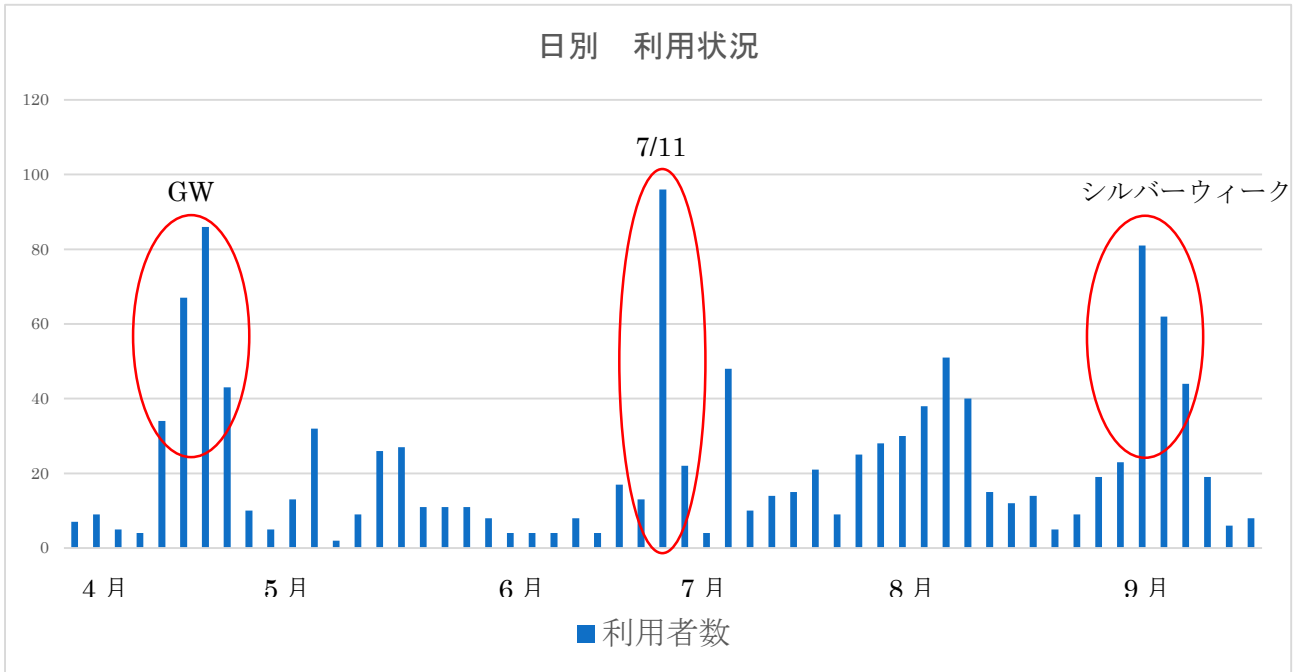
※参考

<利用状況>

○日別利用状況

全体で1,242人の利用者があり、ゴールデンウィーク、シルバーウィークの連休時に利用が伸びた。

7月11日には団体客の利用があった。



○月別利用状況

	利用者数	日数	日平均利用者
4月	25	4	6.3
5月	365	13	28.1
6月	54	8	6.8
7月	239	9	26.6
8月	269	10	26.9
9月	290	11	26.4
	1242	55	22.6

○利用者へのアンケート調査結果の概要

■利用者属性・訪問の特性

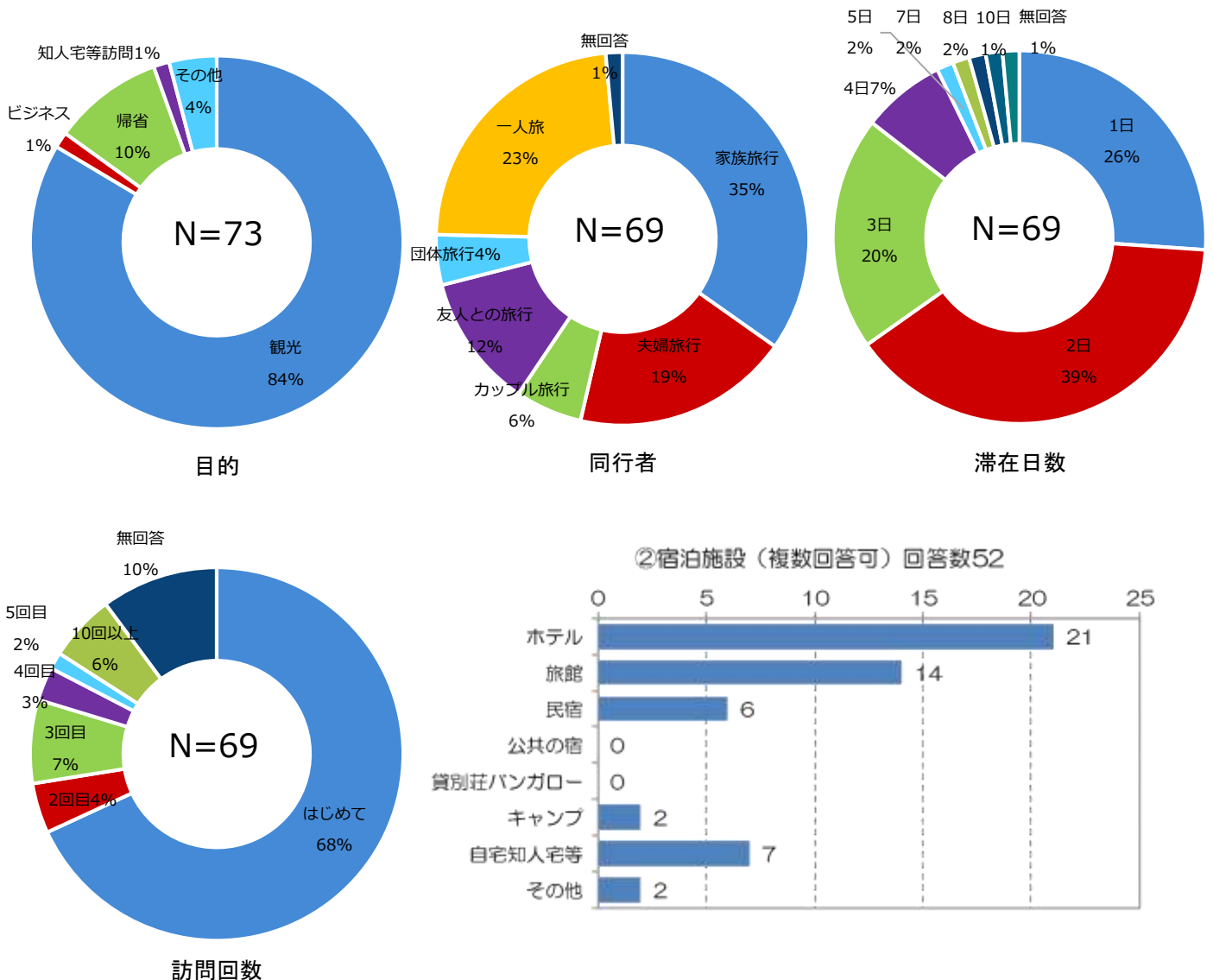
○島外からの観光目的の利用者が多く、全体の8割以上を占める。

○家族旅行が多く約35%（3～4名の家族が多い）、カップル、夫婦の旅行が合わせて25%、一人旅の利用者も23%である。

○宿泊客が73%のうち宿泊は2～3泊が約6割、日帰り客が26%である。

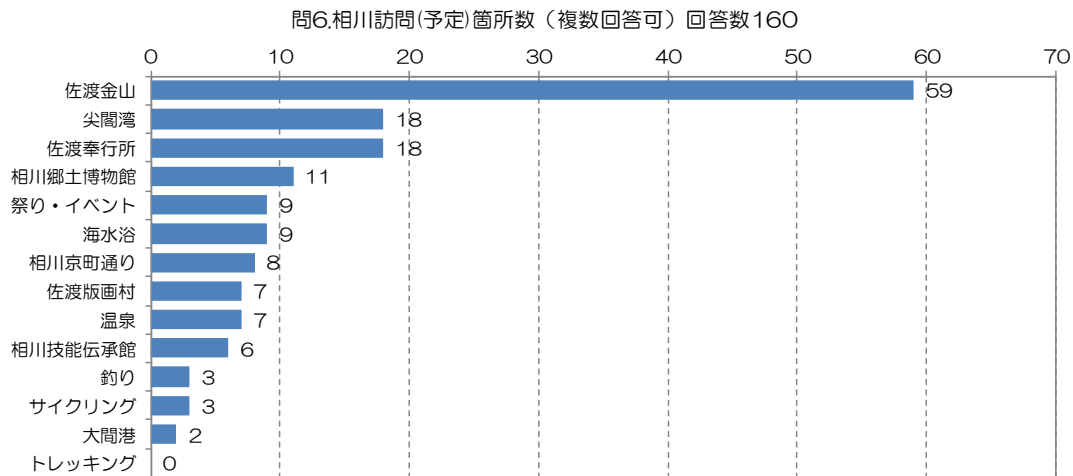
○宿泊先は、ホテル・旅館が多くを占めている。

○佐渡への訪問は、初めてが68%、2回目以上のリピーターが22%である。



■観光訪問先の特性

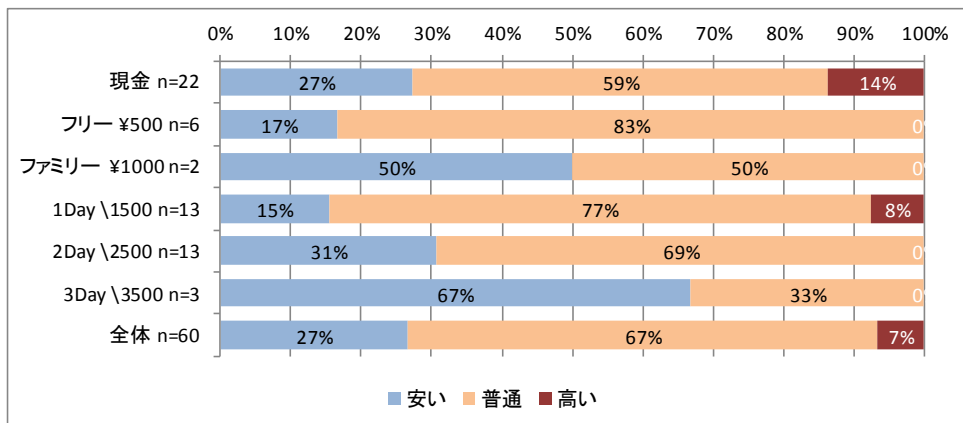
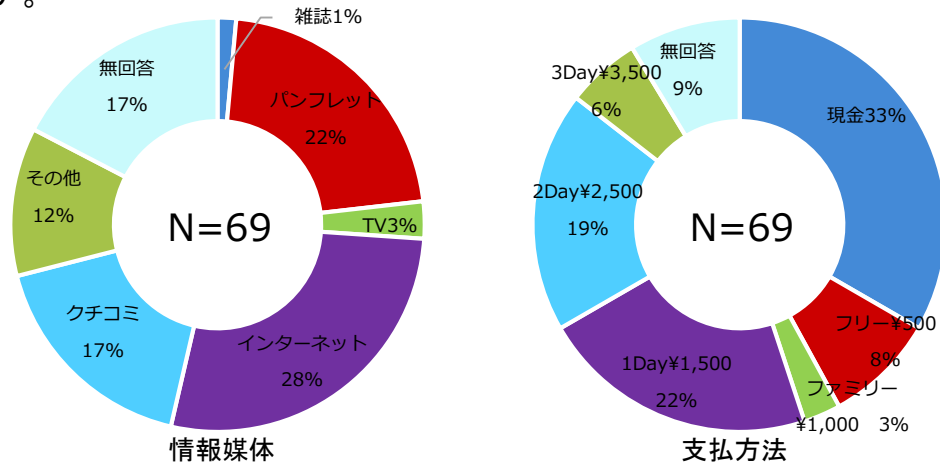
○160名のバス利用者のうち、59名(37%)が佐渡金山を訪れている。次に、18名(11%)が尖閣湾、佐渡奉行所を訪れている。



■循環バスの認知・利用特性

○知るきっかけとなった情報媒体は、インターネットが多く、28%、ついで、パンフレットが22%となっている。

○支払は、現金が最も多く全体の33%となっている。その他は、1~3Dayフリーパス購入者が多く、価格への感じ方は、この3Day、2Dayフリーパスの評価が良い。

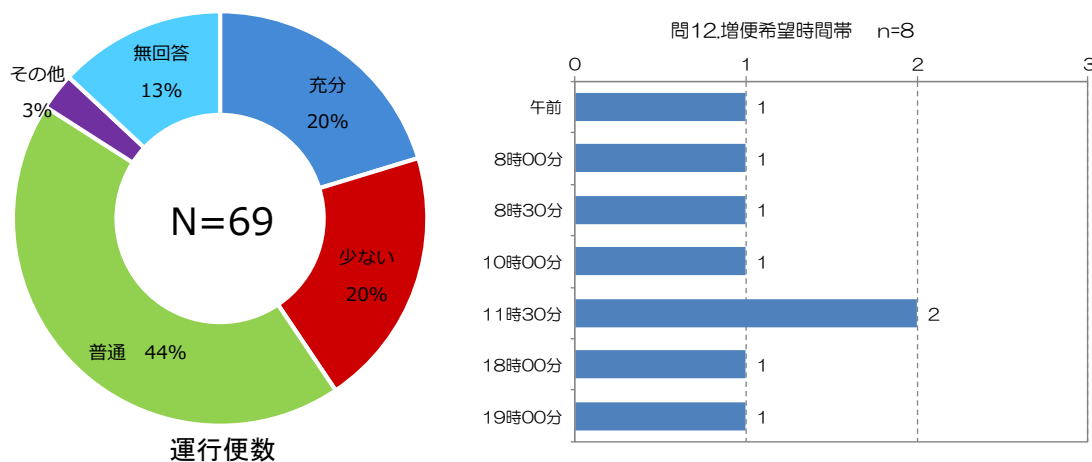


■循環バスへの要望

○運行便数については、6割の方が「充分」、「普通」と回答しており、少ないと答えた方20%で、概ね満足感は得られているようである。増便してほしい時間帯に対しても要望は少ない。

○新たなバス停の要望については、「千畳敷（1）」、「道遊トンネルの直前（1）」が挙げられているが、要望は少ない。

○運行日の要望については、「平日の運行（7）」も挙げられている。



[具体的な要望]

<平日運行の要望> 7件

- ・ 平日も運行して欲しい (4)
- ・ 夏休みは平日運行して欲しい (1)
- ・ 土日祝日でよいが、長期休暇期もあれば (1)
- ・ 夏休み期間は平日小さいバスでも良いので走っているとありがたいです (1)

<繁忙期の運行要望> 4件

- ・ お盆、シルバーウィークなどとその前後 (1)
- ・ お盆、10月、11月 (1)
- ・ 繁忙期 (1)
- ・ お盆休みなど、人の多い時期に特別運行して欲しい (1)

<便数の要望>

- ・ 全体的に便を増やして欲しい。路線バスの1日フリーパスと併せたお得なチケットもあっても良い (1)

2. 公共交通利用促進事業

(1) バスの日ワンコイン（100円）バスの実施

バスの日（9月20日）に併せて1乗車100円とし、路線バスの利用促進を図った。

実施期間：平成27年9月18日（金）、19日（土）

対象路線：島内路線バス全路線

《利用実績》

※現金収入からの按分

	金曜日	土曜日	合計
H27 100円バス利用者数	2,721人	2,910人	5,631人
H26 100円バス利用者数	2,450人	3,264人	5,714人
H25 同時期利用者数（通常料金）	1,689人	1,667人	3,356人

(2) バス乗り方教室の実施

保育園児を対象にバス乗り方教室を実施した。

実施日：平成27年9月18日（金）

対象：稲鯨保育園、羽茂保育園 園児

実施状況



＜今後の取り組み＞

- ・2年目となったワンコインバスについては、次年度実施期間を拡大して更なる利用促進を図る。
- ・保育園児対象のバス乗り方教室については、好評であり次年度も希望する園を募集し、実施する。

3. 観光二次交通事業

路線の一部を観光施設へ延伸・迂回し、観光客等の利便性向上、周遊性の向上を図った。

運行期間：平成27年4月1日～11月30日（上段：平成27年度実績、下段前年比較）

	停留所	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
本線	佐渡金山	延	99	560	159	146	853	642	184	174	2,817
			-45	145	-35	-125	-146	305	39	16	154
	佐渡版画村	延	12	36	10	12	84	58	17	27	256
			-5	-12	-16	-11	12	42	-9	-39	-38
相川博物館	延	11	51	14	15	39	43	17	12	202	
		3	18	-2	-14	-22	31	17	7	38	
	計										3,275 154
南線	トキの森公園 (休日)	迂	92	690	164	269	455	690	169	155	2,684
			-86	36	-184	-68	52	321	-3	-77	-3
	トキの森公園 (平日)	迂	134	280	263	200	742	317	192	156	2,284
			9	-104	-91	-80	-155	-69	-63	79	-474
	歴史伝説館	迂	97	204	60	87	176	169	108	50	951
			5	35	-12	-8	-3	65	44	-30	96
	尾畑酒造前	迂	15	90	17	26	45	67	45	30	335
			-6	1	2	-8	-33	24	2	-31	-49
	吉岡臨時	迂	33	46	31	39	50	35	57	43	334
5			2	5	7	15	1	30	14	79	
国分寺	迂	6	24	17	18	24	22	24	22	157	
		-13	-4	1	3	-9	-10	11	-1	-22	
妙宣寺	迂	15	62	16	28	35	44	32	18	250	
		1	4	-19	11	21	0	1	-4	15	
大膳神社	迂	3	7	7	4	8	13	12	1	55	
		3	-6	-3	0	2	4	7	-6	1	
	計										7,050 -357
小木線	歴史伝説館	迂	41	154	46	44	131	131	70	58	675
			-33	39	-12	-43	4	34	21	-11	-1
	ゴールドパーク	迂	13	219	34	39	143	162	27	11	648
-22			149	-17	-83	-29	64	-5	-4	53	
	計										1,323 52

- ・5月、9月のゴールデンウィーク、シルバーウィークに利用が伸びている。
- ・佐渡金山、相川博物館等で利用が伸びている。
- ・あかね就航により小木線沿いのゴールドパークや歴史伝説館の乗降数が微増となった。
- ・フリー乗車券の販売枚数は増加している。

<今後の取り組み>

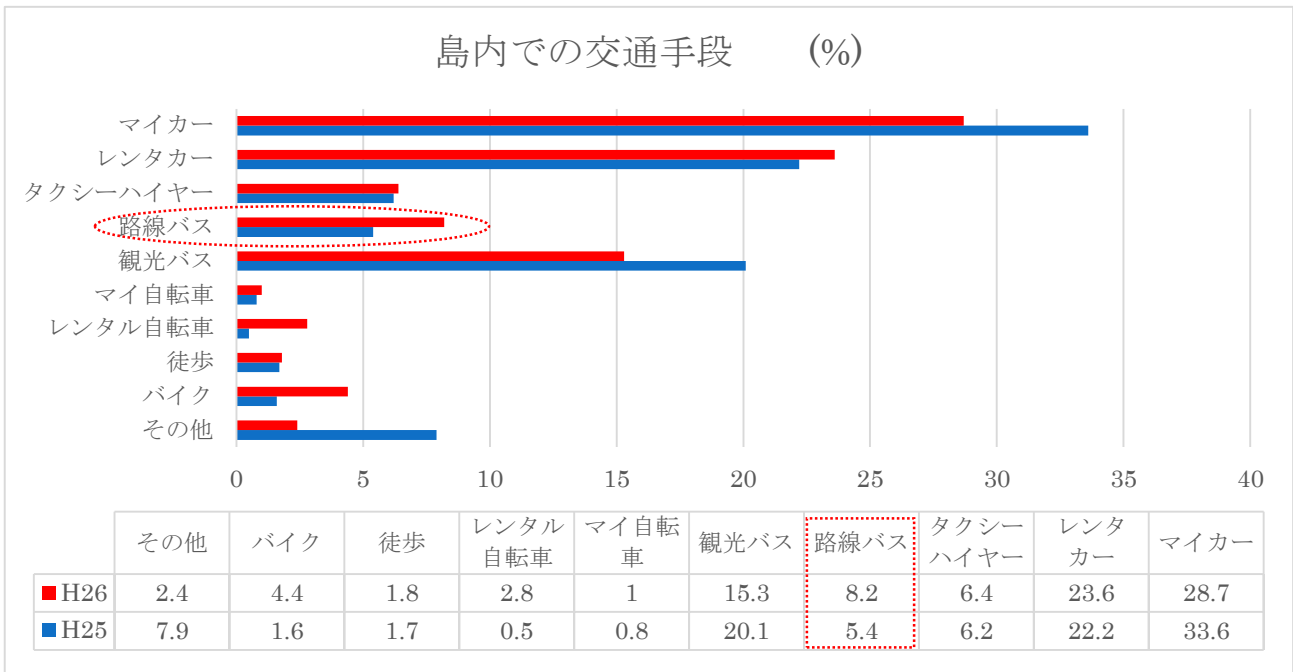
- ・路線バス利用者の観光客全体に占める割合はまだまだ少ないため、一層の利用周知に取り組む。

※参考

○フリー乗車券販売実績

	平成 25 年度 12 月末	平成 26 年度 12 月末	平成 27 年度 12 月末	増減率 (H26-H27)
1 日券	1, 7 7 1	2, 4 3 6	2, 9 6 8	1 2 1. 8 %
2 日券	7 1 2	7 4 1	7 1 4	9 6. 3 %
3 日券	1 9 1	2 3 0	2 1 5	9 3. 5 %
合計	2, 6 7 4	3, 4 0 7	3, 8 9 7	1 1 4. 4 %

○島内での交通手段（佐渡観光アンケート調査より）



<利用促進PR>

観光二次交通の利用促進及びフリー乗車券の販売促進を図るため印刷物、ホームページ等によるPR活動を行った。また、本年度末までに佐渡汽船ターミナル等の拠点における案内表示行う。

- ①相川観光循環バスオリジナルバス停表示板の作成（14基）
- ②フリー乗車券パンフレット（英語版）の製作（1,000部）
- ③観光二次交通情報の新聞広告掲載（新潟日報7月4日「夏の佐渡情報」）
- ④多言語路線バスマップの製作（3ヶ国語（日本語、英語、中国語））
- ⑤案内表示看板の改善
（両津港タクシー看板施工済み、両津港、小木港バス案内表示について年度内に実施）



↑①相川観光循環バス
オリジナルバス停デザイン



↑②フリー乗車券パンフレット（英語版）
↑④多言語バスマップ



←③観光二次交通情報の新聞広告掲載

⑤案内表示看板の改善

・両津港タクシー看板

両津港タクシープールに設置の案内看板を更新するとともに、裏面には英語での案内表示を追加した。



施工前



施工後（表：日本語）



施工後（裏：英語）

・両津港、小木港バス案内表示

両津港、小木港のバス乗り場への誘導サインについて、佐渡汽船が実施している誘導サインの改善に併せて、デザインの統一化（ピクトグラム、多言語表示等）を図り、今年度中に施工する。



両津港バス乗り場誘導サイン(案)



両津港バス乗場誘導サイン<本線>(案)



小木港ターミナル誘導サイン(案)



小木港バス乗場誘導サイン(案)

4. 低床型車両導入費補助

事業者の低床型車両3台分の導入を支援し、バリアフリー化を促進した。

補助率：1/2

補助上限：1台あたり2,000千円

補助実績：8月14日交付決定

(平成13年式、中型ノンステップバス1台)

12月10日交付決定

(平成10年式、大型ノンステップバス2台)

低床化率：28.8%

(ノンステップ・ワンステップ車両15台)



5. 車両ラッピング費補助

路線バスの魅力向上のために事業者が行う車両ラッピング費用等について補助する。

補助率：10/10

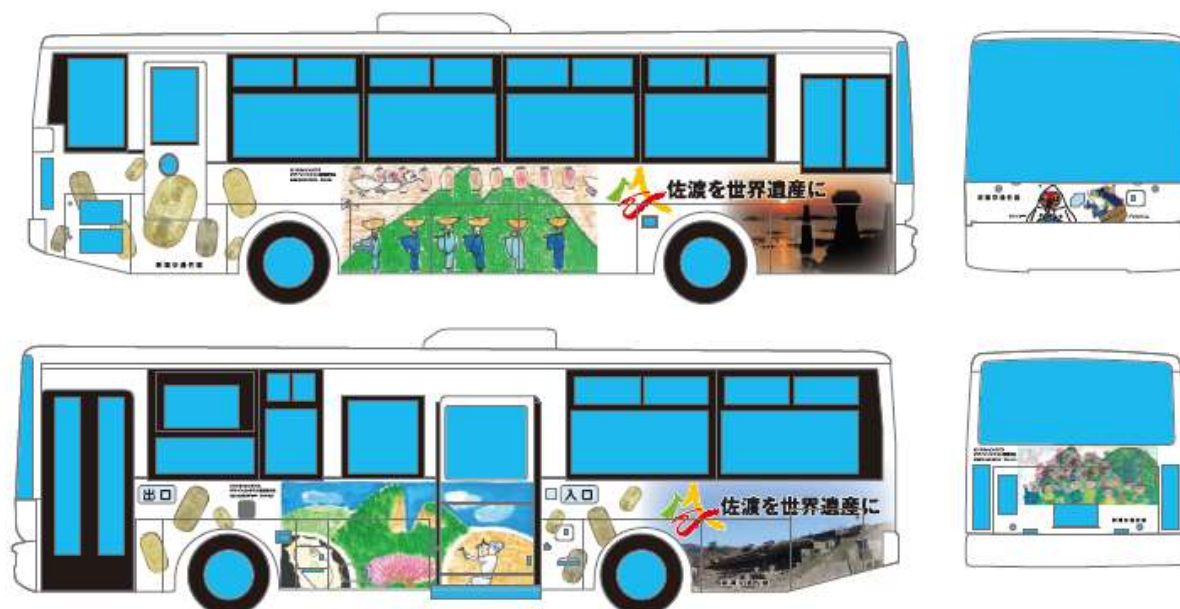
補助上限：1台あたり1,000千円

補助実績：1台 775千円(事業費775,440円) 11月5日事業完了

佐渡金山をテーマとしたラッピングバスデザインコンテストを実施。

市内小学生から207点の応募があり審査の結果3名のデザインを採用した。

平成27年11月7日(土) あいぽーと佐渡において完成した車両の展示と優秀賞3名の表彰を行った。



<今後の取り組み>

・路線バスの魅力向上及び佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた機運醸成について継続して取り組む。

6. 高齢者路線バス運賃割引サービス

高齢者路線バス運賃割引サービスについて、本年度から制度を拡充し、更なる利便性向上を図った。

- (1) 対象者 佐渡市内に在住する70歳以上の方（これまでは75歳以上）
- (2) 内容 路線バス1乗車200円で何回でも利用可能（これまでは年間48枚まで）
- (3) 利用証 写真付きの利用証とした。（不正利用防止のため）

<登録者数>

5, 169人（平成27年3月末） → 6, 541人（平成27年12月末現在）

	対象年齢人口	登録者数	登録率
75歳以上	13,831人	5,212人	37.7%
70歳～74歳	4,001人	1,329人	33.2%
合計	17,832人	6,541人	36.7%

70歳～74歳の新規対象者について当初20%程度の登録率を見込んでいたが、予想以上の登録があり、路線バス利用者の増加に繋がった。

<高齢者運賃割引サービス効果検証調査結果>

平成27年4月から見直した利用条件についてアンケート調査を実施した。

○年齢引き下げについて

- ・70歳以上の条件が妥当であるとの回答が最も多い。
- ・更なる年齢制限の引き下げが必要との回答は少ない。

○利用回数制限の撤廃について

- ・制限枚数の48枚を使い切った後は、通常運賃を支払っていた方が10%、外出を控えていた方は8%となっている。
- ・補助券の廃止について、手間がかからなくなったことによる評価が高い。

○利用回数について

- ・前年度と比較して、利用回数は増加傾向にあり、特に前年まで登録していなかった人の利用回数が増えている。

<今後の取り組み>

- ・調査結果から利用条件の見直しに関する評価は高く、引き続き高齢者の外出支援、公共交通の利用促進策として本事業を継続する。

※参考

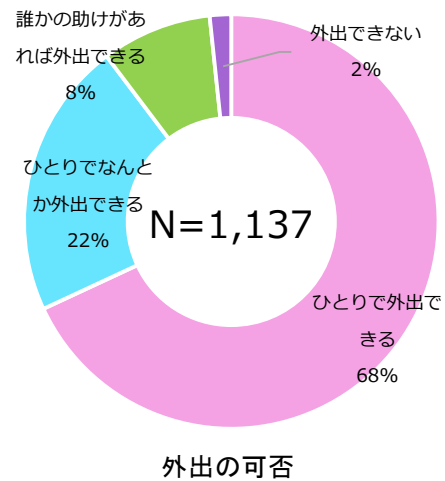
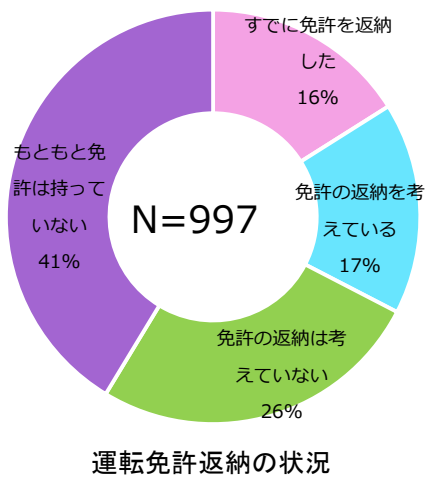
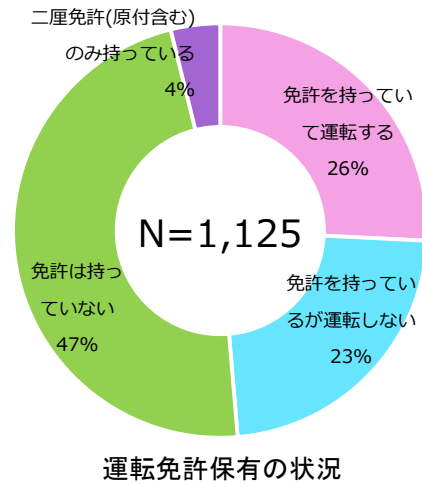
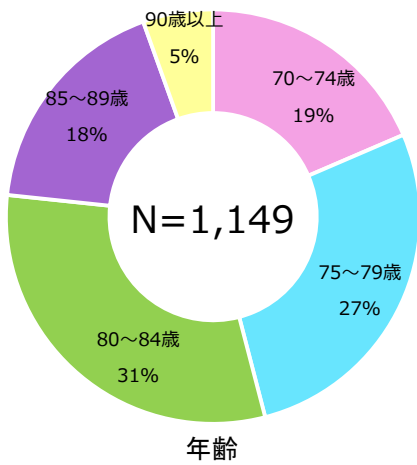
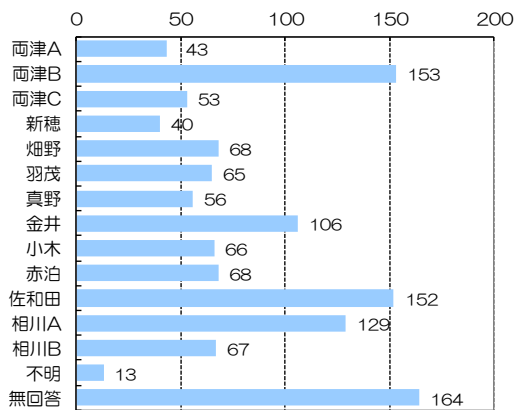
<調査結果>

■配布回収状況

- 配布数 2,000人 (高齢者運賃割引サービスの登録者から無作為抽出)
- 回収数 1,243人 (回収率 62.2%)

■回答者属性

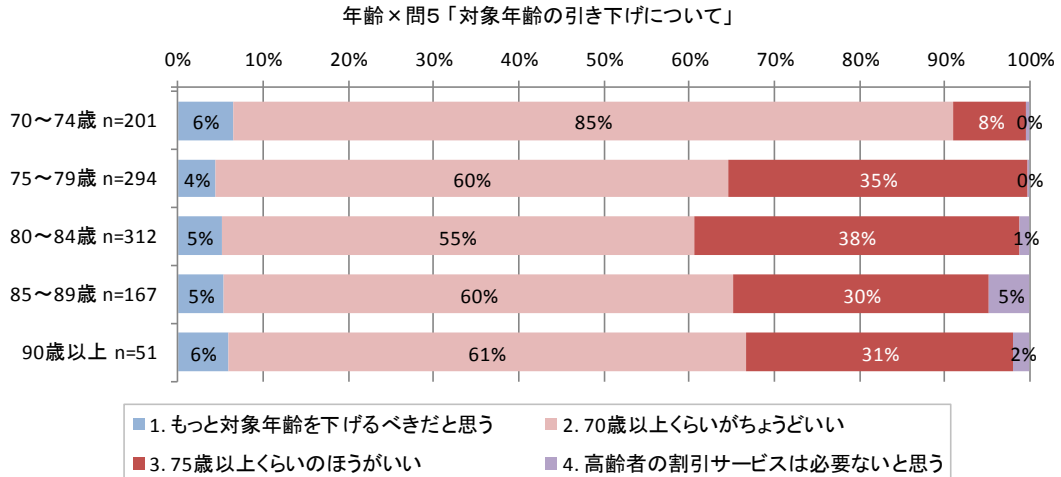
I-問1.居住地 N=1,243



■運賃割引サービスの年齢引き下げについて

○現状の70歳以上の条件が妥当であるとの回答が最も多く、特に、新たに年齢制限内となった70～74歳の方からは評価が高くなっている。

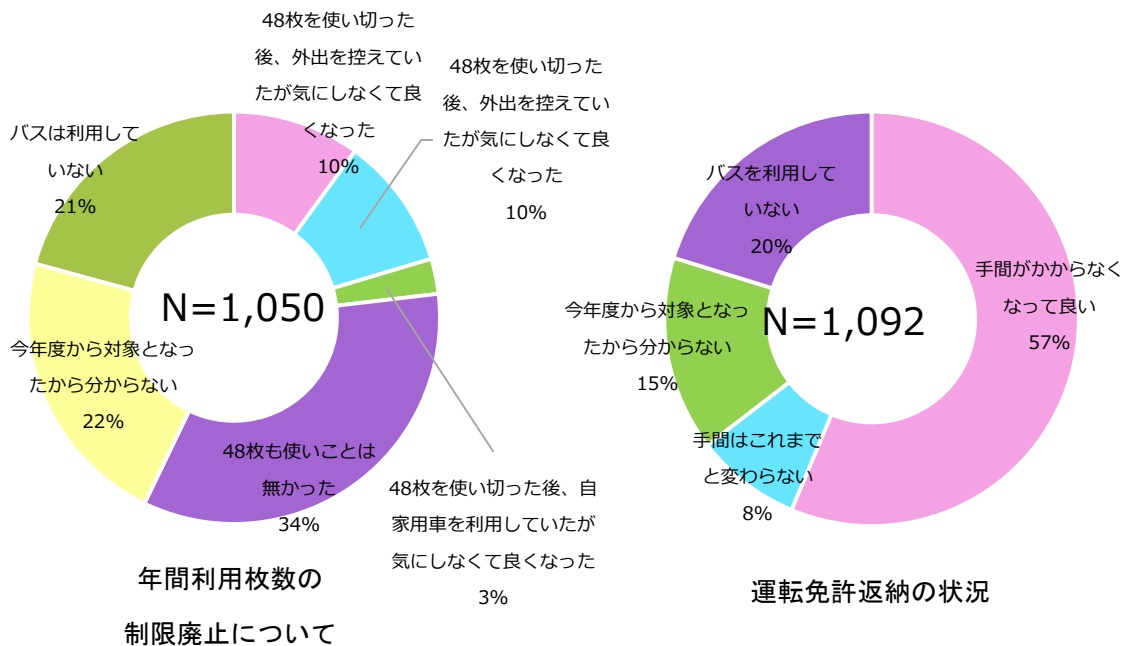
○割引サービスが“必要ない”と答えた方はほとんどいない。



■利用制限枚数と補助券の廃止について

○利用制限枚数の廃止については、これまでも48枚は必要なかったとの回答が多くなっているものの、制限枚数の48枚を使い切った方は、通常運賃を支払っていた方が10%、外出を控えていた方も8%となっている。

○補助券の廃止については、手間がかからなくなったことによる評価が高い。

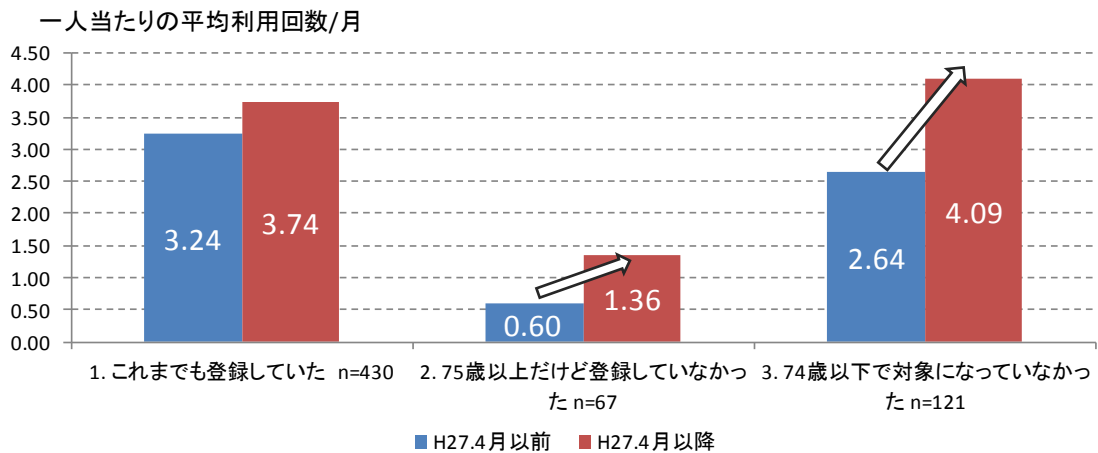


■利用条件変更による利用実態の変化について

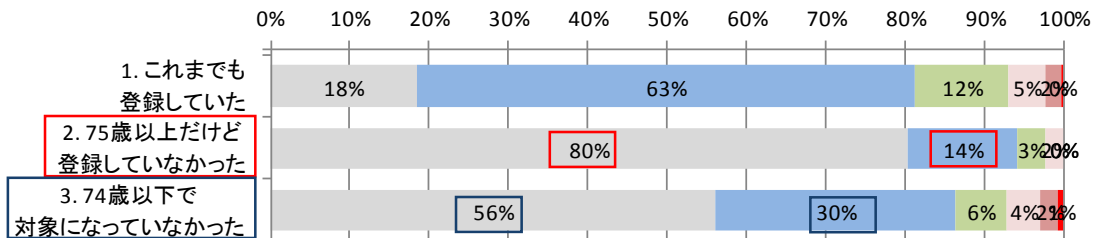
※「75歳以上で“これまでも登録していた”人」、「75歳以上だけど“これまでは登録していなかった”人」、「74歳以下で“これまでは対象ではなかった”人」に分類して利用回数の変化を確認した。

○前年度と比較して、利用回数は増加傾向にあり、特に前年まで登録していなかった人の利用回数が増えている。

H27年4月前後の路線バス利用回数の推移



「H27年4月以前の利用回数」



「H27年4月以降の利用回数」

